



国際ロータリー第 2790 地区 グローバル補助金（GG）奨学生 申請要項

国際ロータリー第2790地区では、2022-23年度に派遣するグローバル補助金奨学生申請要項を、次の通り定めています。

■目的

ロータリー財団が定めた7つの重点分野のいずれかに合ったキャリアを目指し、自分の研究と活動をロータリーの最終目的である「国際理解と世界平和」に生かす意欲がある方を支援します

■奨学金の種類と内容

| | |
|--------|--|
| 分 野 | 下記の分野を海外の大学院または大学院レベルの研究機関で学ぶことが条件です（Q&A参照） ・平和構築と紛争予防 ・疾病予防と治療 ・水と衛生 ・母子の健康 ・基本的教育と識字率向上 ・経済と地域社会の発展 ・環境 |
| 奨学金の給付 | 1年から最長4年まで |
| 支給金額 | 40,000USドル（旅費を含む） |
| 派遣国 | 世界のロータリークラブ所在国 |
| 派遣開始日 | 2022年7月1日～2023年6月30日の新学期から開始しなければならない。 |
| 募集人数 | 3名 |

■申請資格

1. 地区への申請締切（2022年3月15日）までに留学先の教育機関並びに研究機関に既に合格しており、入学許可を証明する書類を有していること。
2. 希望する留学国での修学に必要なとされる語学レベルを有し、学業継続と国際親善の任務を全うしうる者であること。
 - ・英語・・・TOEFL-IBT94、CBT240、あるいはPBT587以上
 - ・フランス語・・・フランス語検定2級程度
 - ・ドイツ語・・・ドイツ語検定2級程度
 - ・上記以外の言語の場合は、地区ロータリー財団委員会へメールにてお問い合わせください。
3. 相手国を理解すると共に、郷土日本の歴史、地理、文化、時事問題等に関し比較説明を行い得る者であること。
4. 上述知識のほか、ロータリーの目的、理想、組織等についての認識と理解が必須です。また、出発前オリエンテーション（数回を予定）や行事に出席する義務が課されます。
5. 健康で独創性と順応性を持ち、ロータリーの目的に対して誠実であること。
6. ロータリーへの寄与を約束する人。
7. 応募者の居住地、職場、大学、本籍のいずれかが千葉県内にあること。
8. ロータリークラブの会員（退会後3年未満の者を含む）及び関係組織の職員、並びにこれらの配偶者及び直系親族（養子を含む）は申請できません。

■奨学金の条件

1. 奨学生は、留学中及び帰国後ロータリーの求めに応じ、少なくとも10回以上の講演・卓話等各種の国際親善のための奉仕のほか、留学中に定期報告を行う義務を負います。
2. 出発前のオリエンテーションの無断欠席や、語学力不足、学業成績不良、不良行為、報告不提出、無断課程変更、中途退学、国際親善の任務不履行等、奨学金目的の達成困難が明らかになった場合、奨学金は打ち切られます。修学中断の理由によっては、返金を求める場合があります。
3. 支給された奨学金の支給に当たり、75米ドル以上の経費は、領収書を受領し、後日地区ロータリー財団委員会に提出していただきます。
4. 留学前、留学中、帰国後を通して推薦クラブ、第2790地区、及び学友会（奨学生同窓会）との連絡を維持すること。
5. 奨学金支給期間の終了後は、たとえ外国に滞在していても、第2790地区の活動に協力するとともに、地区財団学友会に加入し、留学で得た知識や体験をもとに後輩を指導するなど、その他学友会の活動に積極的に参加して頂きます。この地区財団学友会活動への参加意思が申請の前提となります。
6. 奨学期間中、実施国側提唱者(留学先の地区またはロータリークラブ)の求めによって、卓話(クラブの例会において30分程度のスピーチをする)を行ったり、各種行事に招かれた場合には、それに参加しなければなりません。
7. 国際ロータリーやロータリー財団は奨学金支給以外にいかなる責任も負いません。
8. マケレレ大学（ウガンダ・カンパラ）クイーンズランド大学（オーストラリア）、ブラッドフォード大学（英国）、デューク大学（米国）、ノースカロライナ大学チャペルヒル校（米国）、ウプサラ大学（スウェーデン）チュラロンコーン大学（タイ）を留学先の教育機関としている場合、ロータリー平和センタープログラムと一部でも重なりがある場合、奨学金は認められません。

■推薦クラブ

申込者は本籍、居住地、職場、大学等のいずれかの所在地に所在するロータリークラブに推薦を申請してください。最寄りのロータリークラブへの連絡先等は、国際ロータリー第2790地区ガバナー事務所ホームページのクラブ情報で確認下さい。電話等によるお問い合わせにはお答え出来ません。

財団補助金奨学生の事業は推薦クラブが申請する財団補助金事業であり、地区ロータリー財団委員会の事業ではありません。

■申請手順

1. 下記の提出物一覧に掲げる申請書類に漏れなくかつ正確に記入後、推薦クラブへ2022年2月28日までに提出して下さい。ガバナー事務所や地区に直送しても無効です。また、申込に関する書類は返還いたしません。
2. 申込書及び申請書はRI第2790地区ガバナー事務所の当該年度 HPからダウンロードして下さい。
3. 推薦は原則として1クラブにつき地区補助金奨学生、グローバル補助金奨学生のいずれか1名のため、クラブが指定する日にクラブ選考がある場合がありますので期間に余裕を持ってください。クラブによる推薦のない申請書は受理されません。
4. 選考日程は次の通りです。
 - a. 申請開始：2022年1月15日 ※申請要領は地区のホームページからダウンロードして下さい。
 - b. クラブへの申込締切：2022年2月28日
 - c. クラブから地区への申請締切：2022年3月15日
 - d. 地区奨学生選考会：2022年4月17日
※選考結果は推薦クラブと本人宛にメールで連絡します。
5. 地区奨学生選考会の合格者に対して2022年5月～8月の期間に複数回、出発前オリエンテーションを実施予定です。奨学候補者は、出発前オリエンテーション等に出席し、手続きをすべて完了した段階で初めて奨学生となります。この出発前オリエンテーションへの欠席者は失格となる場合があります。また、スポンサークラブの代表連絡者もご同席をお願いします。

■ 提出書類

| | 書 類 | 記入言語 | 部 数 | 備 考 |
|---|--|------------|-----|---------------------------------------|
| 1 | グローバル補助金奨学生申請書 (様式702) | 日本語 | 1部 | 推薦先クラブの承認が必要となりますので早めに作成されることをお勧めします。 |
| 2 | グローバル補助金奨学生申込書(申込者→クラブ) (様式703) | 日本語 | 1部 | 要写真添付。 |
| 3 | 無条件 (または条件付き) の大学院の入学許可証、または大学院レベルの研究を行うための招待状 | 日本語又は留学先言語 | 1部 | ※期日までに提出が無理な場合は応相談 |
| 4 | 公的な語学試験のスコア | 日本語又は英語 | 1部 | 英語は TOEFL または IELTS とする。(最新年度) コピー可 |
| 5 | 推薦状 | 日本語 | 1部 | 教師 (2名) 又は適切な雇用主/上司2名からの推薦が必要。要厳封。 |
| 6 | 成績証明書 | 日本語 (英語も可) | 1部 | 最終教育機関の成績表 提出 ※コピー可 (選考会時に原本持参) |

※ロータリーの使命や理念については、国際ロータリーのHP (<http://www.rotary.org/ja>) をご参考下さい。

※各種申請書及び、手続きに対する疑義解釈をQ&A形式で国際ロータリー第2790地区のHP (https://www.rid2790.jp/2021/iinkai/rz_shogakusei.html) に掲載されております。ご参照下さい。

■ 選考会後の流れ

1. 地区ロータリー財団委員会は選考試験を行い、グローバル補助金奨学生を最大3名まで派遣選抜します。
2. 申込者は、ロータリークラブと協力して、実施国側提唱者(留学先の地区又はクラブ)を選定します。
3. 申込者は、ロータリークラブと協力して、オンラインで、ロータリー財団に申請書を提出します。
4. 地区ロータリー財団委員会は、出発までに数回のオリエンテーションを実施します。奨学生候補者は、オリエンテーションを受講しなければなりません。
5. ロータリー財団の承認が得られるとグローバル補助金奨学生に決定します。決定後4週間程で、ロータリー財団より奨学金が入金されます。

奨学生は、留学中、12ヵ月ごとに中間報告書をオンラインでロータリー財団に提出し、留学期間終了後は、2ヵ月以内に最終報告書を提出しなければなりません。